

(様式1)

令和7年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 017	提案機関名 よこすか葉山農業協同組合
要望問題名 夏期の作付準備期における栽培環境の改善に効果のある緑肥等の選定	
要望問題の内容 異常気象による温暖化が進み、一度に大量の雨量を観測するようになり、夏期の作付準備期に大量の降雨に見舞われると、トラクターで耕耘した畑から土壌が流出し、その後の土壌整地並びに流土の扱いに生産者が苦慮しております。事前に畑の周りに溝を掘り、排水対策を行なっておりますが、傾斜地や平地など様々な立地条件もあり、大量の降雨による土壌の流出を防ぐのは困難な状況です。簡易的かつ農作物の栽培環境の改善に効果のある緑肥等の選定をお願いします。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備 考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	三浦半島地区事務所
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 三浦半島地域では、夏作物の作付が減少し、空畑が多くみられることから、土壌流出防止対策の検討は重要な課題と考えますが、圃場の立地条件や作付体系にも影響することから、土留め工など圃場整備を行わない限り難しいと考えますので実施不可とさせていただきます。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備 考			